

2024年3月期 決算説明資料

2024年5月10日

JAMCO Vision 2030



技術と品質を翼に、快適で持続可能な未来へ

航空業界を基軸に培ってきた技術と品質を、先端技術とイノベーションにより進化させながら更なる事業領域の拡大を目指し、航空宇宙産業を通じた価値創造企業グループとして、快適で持続可能な社会へ貢献し続ける。

Always Fly Together with transforming our business by engineering evolution for a sustainable world

- この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。
- この資料における数値について、記載金額は、表示桁未満を切捨てしており、増減率(%)は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。
- 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複写することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。

2024年3月期 決算の状況

- 04 | エグゼクティブサマリー
- 05 | グループ連結P/L
- 06 | 連結経常利益の前期比差異要因
- 07 | 連結経常利益の計画比差異要因
- 08 | セグメント別 売上高・経常利益-①(前期比/計画比)
- 09 | セグメント別 売上高・経常利益-②(前期比)
- 10 | セグメント別 売上高・経常利益-③(計画比)
- 11 | グループ連結B/S
- 12 | グループ連結C/F
- 13 | グループ各社の状況

1

2023年度実績は、売上高639億円（前期比+167億円）、営業利益23億円（前期比+7億円）と増収増益になった。経常利益は為替差益の減少や金利負担増加などにより、9億円（前期比△1億円）、固定資産の減損損失計上などにより、当期純利益17億円（前期比△4億円）となった。

2

収益力強化を目的とした「選択と集中」の一環として、航空機シート事業の開発を伴う受注を一時的に凍結し、開発人員と生産キャパシティの航空機内装品事業への集約を進める。

3

2024年度は、売上高869億円、営業利益78億円、経常利益52億円、当期純利益34億円となる見通し。年間配当は25円/株（復配）を予定。尚、中期経営計画（3か年）の公表は5/23予定。

【単位:百万円】

	FY22 (実績)	FY23 (計画)	FY23 (実績)	前期比 (増減)	計画比 (増減)
売上高	47,225	71,800	63,999	16,773	△ 7,800
売上総利益	10,072	14,730	11,924	1,851	△ 2,805
販管費	8,339	9,730	9,541	1,202	△ 188
営業利益	1,733	5,000	2,383	649	△ 2,616
営業外損益	△ 606	△ 1,800	△ 1,383	△ 777	416
経常利益	1,127	3,200	999	△ 127	△ 2,200
特別損益	467	0	△ 412	△ 879	△ 412
税金等調整前当期純利益	1,594	3,190	587	△ 1,007	△ 2,602
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,174	2,280	1,710	△ 463	△ 569
1株当たり当期純利益 (円)	81.05	85.00	63.75	—	—
売上為替レート (円/USドル)	135.08	130.00	143.21	—	—

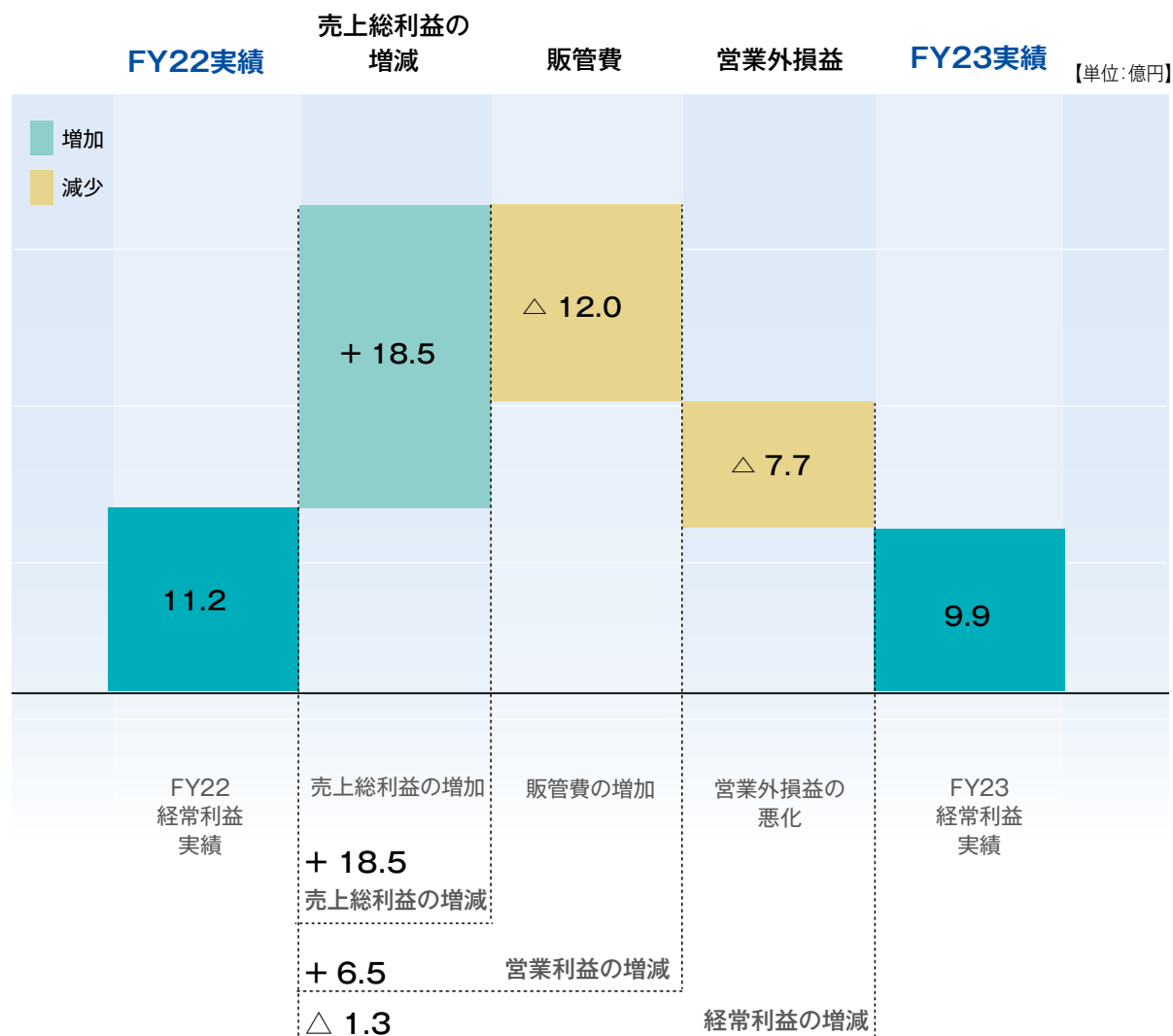
(注) 計画とは、2023年5月12日の決算発表時の業績予想数値です。

2024年3月22日に「通期連結業績予想及び配当予想(無配)に関するお知らせ」において、上記の計画を修正しています。

連結経常利益の前期比差異要因



■ 前期比 △ 1.2億円

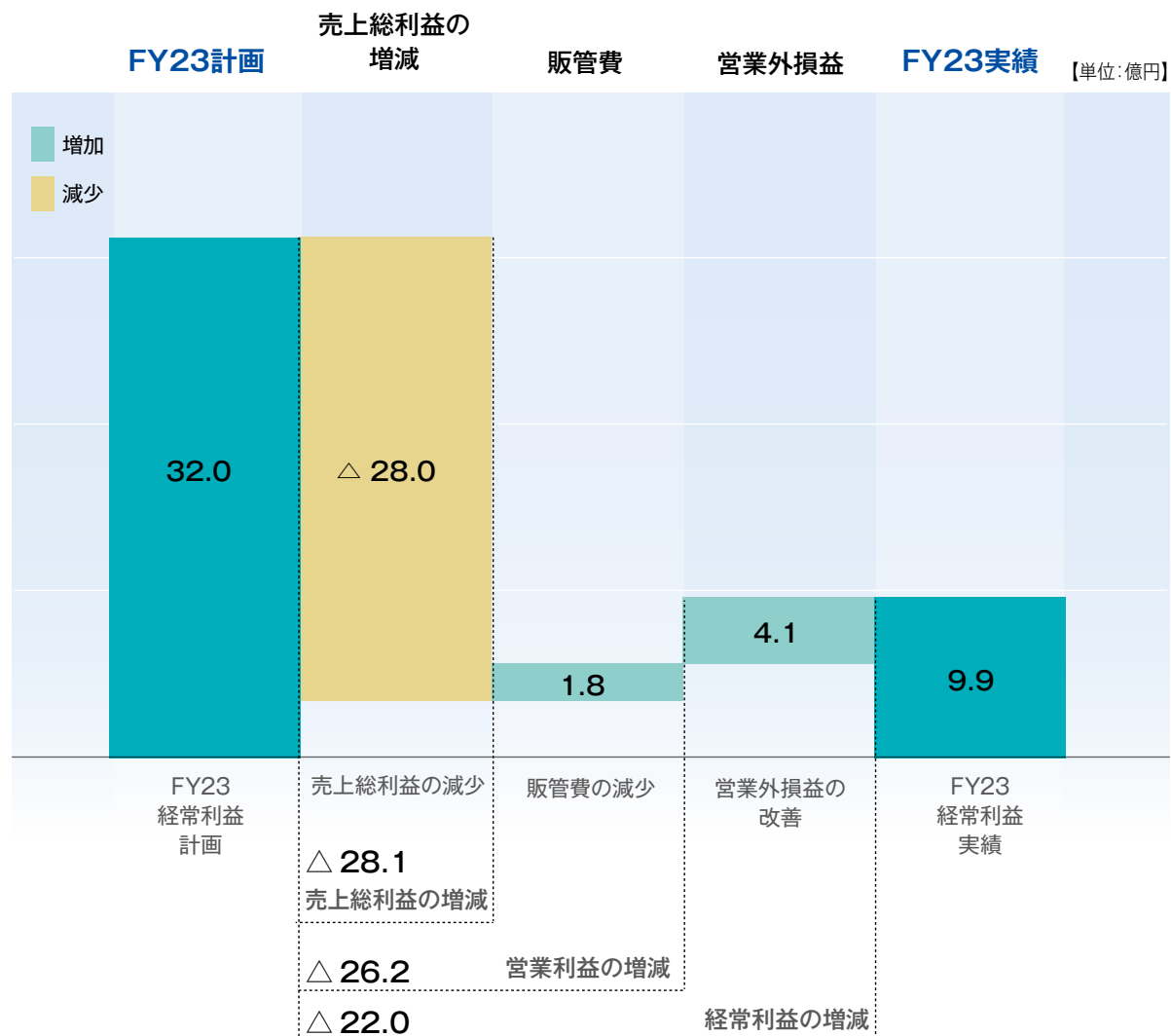


- Point**
- 売上総利益(+ 18.5億円)
 - 航空旅客需要の回復に伴い、航空機メーカーの増産やエアラインのスペアパーツ需要の増加により売上高の増加や外貨建て売上高の円安による効果などから増加。
 - 販管費(△ 12.0億円)
 - 人件費の増加 △ 4.0億円
 - 保証工事費の増加 △ 3.2億円
 - 販売手数料の増加 △ 2.0億円
 - その他 △ 2.8億円
 - 営業外損益(△ 7.7億円)
 - 為替差益の減少 △ 4.9億円
 - 支払利息の増加 △ 2.6億円
 - その他 △ 0.2億円

連結経常利益の計画比差異要因



■ 計画比 △22.0億円



Point

■ 売上総利益(△ 28.0億円)

- 売上高の減少に加え、主に航空機シートセグメントにおいて、米国におけるインフレーションや円安によるドル建てコストの上昇による採算悪化

■ 販管費(+ 1.8億円)

- 試験研究費の減少 + 4.4億円
- 保証工事費の増加 △ 2.0億円
- その他 △ 0.6億円

■ 営業外損益(+ 4.1億円)

- 為替差益の増加 + 1.6億円
- 支払利息の減少 + 2.2億円
- その他 + 0.3億円

セグメント別 売上高・経常利益-① (前期比/計画比)



【単位:百万円】

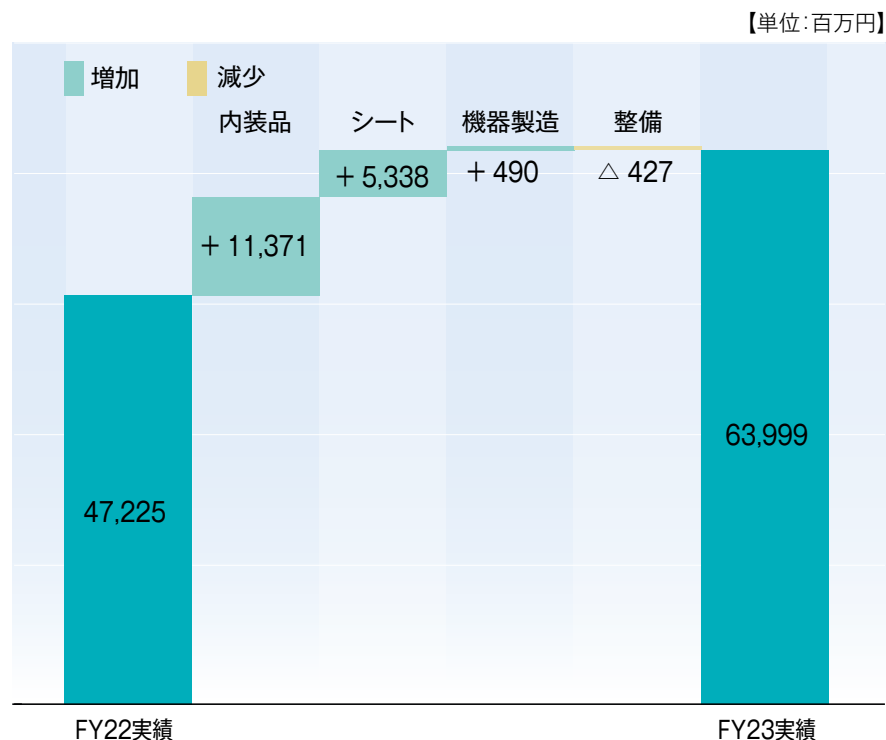
	売上高					経常利益				
	FY22 (実績)	FY23 (計画)	FY23 (実績)	前期比 (増減)	計画比 (増減)	FY22 (実績)	FY23 (計画)	FY23 (実績)	前期比 (増減)	計画比 (増減)
航空機内装品	29,614	42,800	40,986	11,371	△ 1,813	3,586	3,909	4,970	1,383	1,060
航空機シート	3,869	13,600	9,208	5,338	△ 4,391	△ 2,708	△ 985	△ 4,015	△ 1,306	△ 3,029
航空機器製造	5,075	6,200	5,566	490	△ 633	85	202	△ 159	△ 245	△ 362
航空機整備	8,663	9,000	8,235	△ 427	△ 764	170	105	211	40	105
その他	2	0	2	0	2	△ 6	△ 32	△ 6	0	25
合計	47,225	71,800	63,999	16,773	△ 7,800	1,127	3,200	999	△ 127	△ 2,200

(注)「その他」はオレンジジャムコの事業を含んでおります

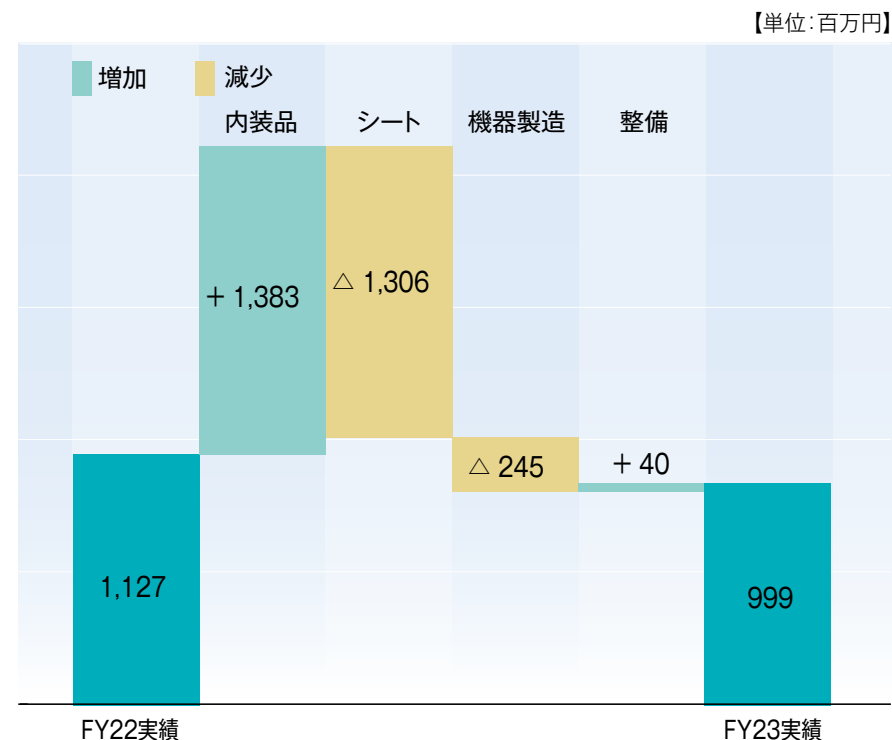
セグメント別 売上高・経常利益-② (前期比)



売上高



経常利益



Point

- 内装品は、ボーイング 787 型機向け製品の出荷が再開したことや運航機数の増加によりエアライン向けスペアパーツ販売が増加
- シートは、ボーイング 777 型機向けビジネスクラス・シート「Venture」の出荷が進んだことなどにより増加
- 機器製造は、民間航空機向け炭素繊維構造部材の出荷が増加
- 整備は、部品整備において一部プログラムの出荷が翌期に繰り延べられたことなどから減少

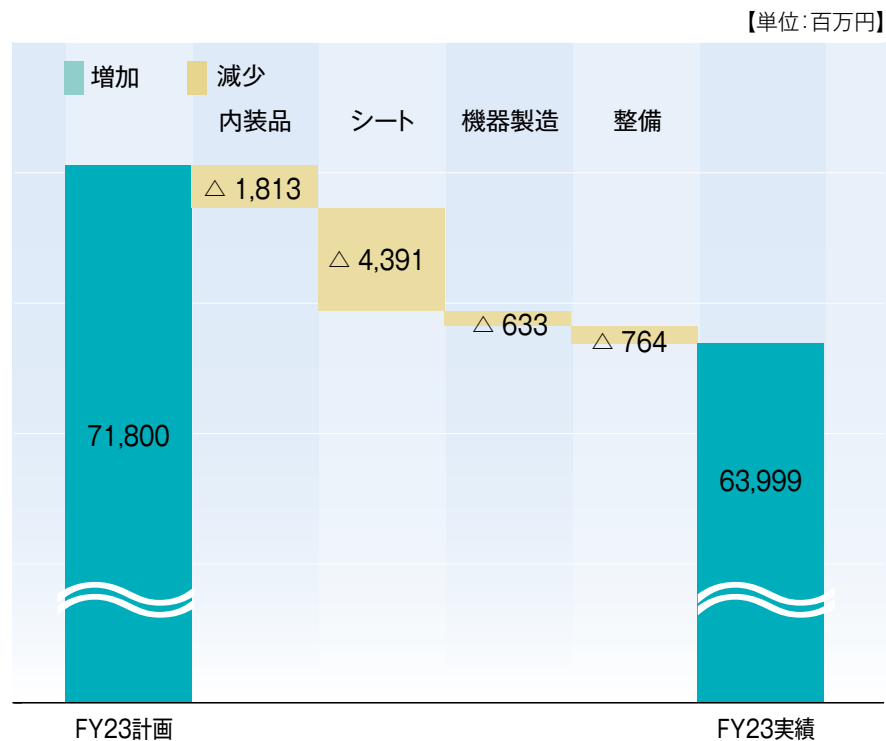
Point

- 内装品は、スペアパーツ販売の増加に加え、外貨建て売上高の円安による効果などにより増加
- シートは、他機種展開に伴う初期費用の増加、米国におけるインフレーションや円安によるドル建てコストの上昇などにより経常損失悪化
- 機器製造は、原価増の影響などにより経常損失となる
- 整備は、機体整備が堅調に進捗したことにより採算性が向上し増加

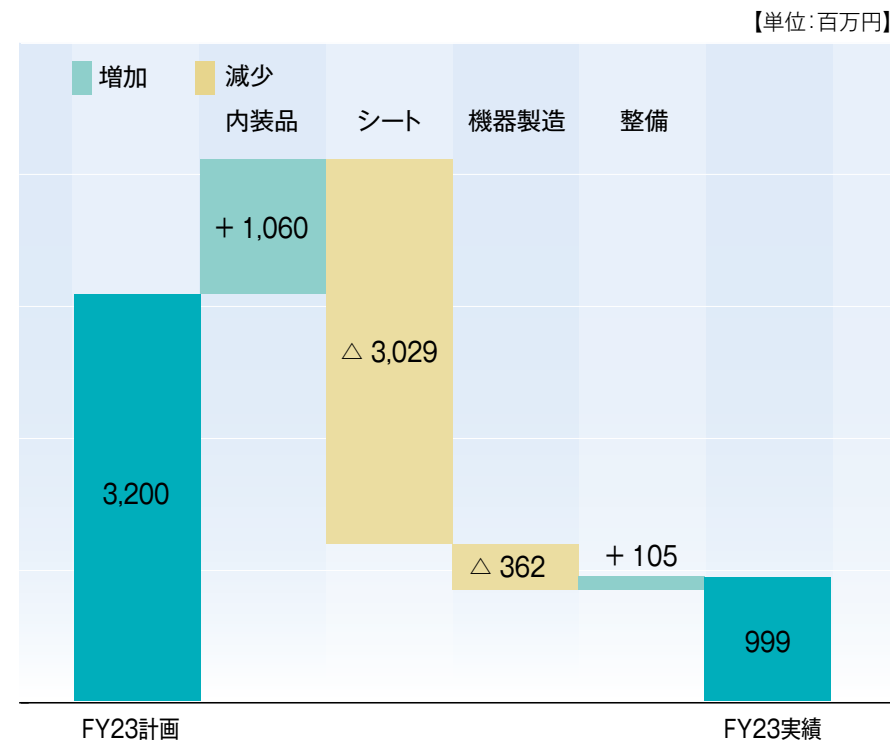
セグメント別 売上高・経常利益-③ (計画比)



売上高



経常利益



Point

- 内装品及びシートは、顧客都合によるスケジュール変更や材料部品の一部入荷遅れなどにより減少
- 機器製造は、航空機エンジン関連部品の納入遅れなどにより減少
- 整備は、大気観測装置の認証試験の遅れなどにより減少

Point

- 内装品は、スペアパーツ販売の増加に加え、外貨建て売上高の円安による効果などにより増加
- シートは、売上高の減少に加えて、米国におけるインフレーションや円安によるドル建てコストの上昇などにより減少
- 機器製造は、原価増の影響などにより減少
- 整備は、機体整備が堅調に進捗したことなどにより採算性が向上し増加

【単位:百万円】

科目	FY22 末 2023年3月31日現在	FY23 末 2024年3月31日現在	増減
〈資産の部〉			
流動資産			
現金及び預金	8,334	6,766	△ 1,567
受取手形、売掛金及び契約資産	17,615	20,317	2,702
棚卸資産	48,732	51,865	3,133
その他流動資産	2,639	3,934	1,295
流動資産合計	77,321	82,884	5,563
固定資産			
有形固定資産	11,590	11,437	△ 153
無形固定資産	1,807	2,106	298
投資その他の資産	10,074	11,788	1,713
固定資産合計	23,472	25,331	1,859
資産合計	100,794	108,216	7,422

科目	FY22 末 2023年3月31日現在	FY23 末 2024年3月31日現在	増減
〈負債の部〉			
流動負債			
支払手形及び買掛金	4,719	6,951	2,232
電子記録債務	2,997	5,036	2,039
短期借入金	50,022	52,697	2,674
1年内返済予定の長期借入金	1,060	660	△ 400
前受金	8,374	7,735	△ 639
工事損失引当金	4,280	5,209	929
その他流動負債	5,577	5,833	256
流動負債合計	77,032	84,123	7,091
固定負債			
長期借入金	1,250	590	△ 660
その他固定負債	9,128	8,431	△ 697
固定負債合計	10,378	9,021	△ 1,357
負債合計	87,411	93,144	5,733
〈純資産の部〉			
純資産合計	13,383	15,071	1,688
負債及び純資産合計	100,794	108,216	7,422

Point

- 受取手形、売掛金及び契約資産は、売上増加などにより増加
- 棚卸資産は、出荷が翌期以降に繰り延べられたことなどにより増加

- 短期借入金は、為替評価により増加
- 自己資本比率 12.9%→13.9%

【単位:百万円】

	FY22	FY23
営業活動によるキャッシュ・フロー	87	1,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,025	△ 1,688
フリー・キャッシュ・フロー	△ 938	△ 284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 705	△ 555
現金及び現金同等物の期末残高	6,958	6,766

Point

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権、棚卸資産の増加があったものの、仕入債務、減価償却費、税金等調整前当期純利益の増加などによりキャッシュインフロー

【単位:百万円】

	当社	新潟 ジャムコ	宮崎 ジャムコ	中条 ジャムコ	ジャムコ アメリカ	ジャムコ シンガポール	ジャムコ フィリピン	ジャムコ エアロ マニユファク チャリング	徳島 ジャムコ	ジャムコ エアロテック	オレンジ ジャムコ
売上高	57,760	2,996	913	1,255	22,717	0	856	1,150	779	456	125
営業利益	1,229	196	58	151	345	△ 7	142	76	31	15	6
経常利益	559	200	57	148	△ 331	△ 10	138	75	32	15	6
当期純利益	1,433	136	118	100	△ 634	△ 12	117	54	19	12	4

(注)ジャムコアメリカは、航空機シート事業の減損損失を計上

技術を翼に世界の空へ

 **Jamco**
ALWAYS FLY TOGETHER



Always Fly Together